



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年1月30日

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3635 URL <http://www.koeitecmo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 TEL 045-562-8111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	24,075	△5.9	4,858	35.7	9,157	22.4	6,532	31.1
26年3月期第3四半期	25,578	15.2	3,580	43.5	7,482	86.1	4,983	90.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 11,292百万円(40.3%) 26年3月期第3四半期 8,047百万円(29.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	75.09	74.71
26年3月期第3四半期	57.39	57.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	106,432	96,876	91.0	1,108.91
26年3月期	100,622	88,788	88.2	1,020.70

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 96,805百万円 26年3月期 88,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	ー	0.00	ー	40.00	40.00
27年3月期	ー	0.00	ー		
27年3月期(予想)				41.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	1.1	8,000	12.0	11,000	2.5	7,000	0.9	80.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー 除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	89,769,479株	26年3月期	89,769,479株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	2,472,079株	26年3月期	2,834,138株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	86,996,237株	26年3月期3Q	86,849,061株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に弱さがみられるものの、雇用情勢や企業収益は改善傾向で、景気は緩やかな回復基調が続いております。

ゲーム業界におきましては、家庭用ゲーム市場は、国内において市場規模が前年を下回るなど引き続き低調に推移しましたが、北米においては「PlayStation 4」、「Xbox One」の新型ハード販売が好調で、市場規模が前年を上回りました。国内及び海外においてダウンロードコンテンツ販売などデジタル分野が伸長したほか、スマートフォンゲームの成長も加わり、プラットフォームは多様化しながら、ゲーム市場全体としては世界的に更なる成長が期待されます。

このような経済環境下において、当社では経営方針「更なるIPの創造と展開」のもと、各種施策に取り組んでおります。大型コラボレーションを進めるとともに、既存IPの展開や新ハード対応、周年事業を積極的に推進したほか、ダウンロードコンテンツ販売の伸長、コストマネジメントを徹底した結果、収益性が向上しました。2014年10月には当社子会社である株式会社コーエーテクモゲームスと株式会社ガストの合併を実施し、グループシナジーの更なる強化を図りました。また、株式相場の上昇や為替相場が円安で推移した影響などにより、有価証券関連損益も大きく伸長しております。これらにより、当社グループの当第3四半期業績は、売上高240億75百万円（前年同四半期比5.9%減）、営業利益48億58百万円（同35.7%増）、経常利益91億57百万円（同22.4%増）、四半期純利益65億32百万円（同31.1%増）となり、営業利益、経常利益、四半期純利益においては第3四半期連結累計期間として5期連続の増益を達成し、経営統合以来最高の業績となりました。

事業の種類別セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

ゲームソフト事業 売上高 147億72百万円 セグメント利益 35億67百万円

国内では「真・三國無双7 Empires」（PS4、PS3、Xbox One用）、「戦国無双 Chronicle 3」（PS Vita、3DS用）、「信長の野望・創造 withパワーアップキット」（PS4、PS3、Win用）を発売し好調となりました。ガストタイトルでは「シエルノサーージュ Offline ～失われた星へ捧ぐ詩～」（PS Vita用）、「アルノサーージュ Plus ～生まれいずる星へ祈る詩～」（PS Vita用）を発売し人気を集めました。スマートフォンアプリでは「アトリエ クエストボード」の配信を開始し、多くのお客様にお楽しみいただいております。また、「戦国無双」10周年関連施策や、2015年に30周年を迎える「三國志」の周年事業をスタートするなど、IPの展開・強化を進めています。

海外では「戦国無双4」（PS4、PS3、PS Vita用）を発売し好評を博したほか、任天堂株式会社と共同で企画・開発し9月に発売した「ゼルダ無双」（WiiU用）はワールドワイドで出荷が100万本を突破し、引き続き好調な販売となりました。

事業方針の柱のひとつであるコラボレーション展開は着実な成果をあげ、利益率の高いロイヤリティ収入の比率が増加しました。ダウンロードコンテンツ販売の伸長、開発効率の向上と合わせ、収益性の高い事業を実現しております。これらにより増益を達成し、第3四半期連結累計期間としては経営統合以来、最高のセグメント利益となりました。

オンライン・モバイル事業 売上高 49億3百万円 セグメント利益 8億92百万円

ソーシャルゲーム事業では、「100万人の信長の野望」などの「100万人」シリーズが引き続き堅調に推移したほか、「DMM.com」にて「100万人のWinning Post Special」を、「ハンゲーム」で「大航海時代V」をサービスインするなど、マルチプラットフォーム展開を積極的に推進しました。また、当社人気IPを舞台化した「舞台 のぶニャがの野望 弐（にゃん）」が上演されるなど、IPの展開・強化を推し進めました。今後、複数の新作ネイティブアプリのリリースを予定しており、更なる事業拡大を図ってまいります。

海外では韓国にてPC版「大航海時代V」のオープンβテストを開始し、約10万人のお客様に参加いただくなど人気を集めています。中国・台湾でもPC版・スマートフォン版のリリースに向け準備を進めております。

当社が開発・運営するゲームSNS「my GAMECITY」では、自社以外のサードパーティのゲームをラインアップに加えるオープンプラットフォーム化を実施しサービスを拡充、会員数を順調に伸ばしております。

オンラインゲーム事業では「信長の野望 Online ～覚醒の章～」（PS4、PS3、Win用）を発売したほか、各タイトルとも底堅く推移しました。

以上の結果、増収増益を達成し、第3四半期連結累計期間としては経営統合以来最高の売上及び利益となりました。

メディア・ライツ事業 売上高 18億31百万円 セグメント利益 1億63百万円

イベント「ネオロマンス・フェスタ 金色のコルダ Featuring 天音学園/星奏学院」を開催し盛況となったほか、「お泊りde戦国無双in蓼科～佐和山の章～」、「金色のコルダ ディナーパーティー in 2014 Winter」など新形態のユーザー参加型イベントを展開し人気を集めました。グッズ販売やソーシャルゲーム、ネイティブアプリも好調に推移しました。これらにより大幅な増収増益を達成し、第3四半期連結累計期間としては、売上・利益とも過去最高を更新しました。

SP事業 売上高 14億68百万円 セグメント利益 4億84百万円

当第3四半期においては「パチスロ三國志」がリリースされました。開発環境が厳しくなる中で当社のパチンコ・パチスロ機への液晶ソフト受託開発は順調に進捗しておりますが、売上の多くが第4四半期に予定されていることから、第3四半期連結累計期間としては減収減益となりました。開発ラインの効率化を進め、より一層の収益力向上を図ってまいります。

アミューズメント施設運営事業 売上高 12億5百万円 セグメント利益 8百万円

店舗内イベントの開催やグループIPを積極活用した施策に注力したものの、消費税率引き上げに伴う影響もあり既存店売上高は軟調に推移し、減収減益となりました。今後につきましては、集客施策の展開、更なる業務の効率化を通じて収益力の強化を図ってまいります。

その他事業 売上高 5億30百万円 セグメント利益 58百万円

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して58億10百万円増加し、1,064億32百万円となりました。これは主に、投資有価証券が77億56百万円、建物及び構築物が33億78百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が52億52百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して22億77百万円減少し95億56百万円となりました。これは主に、未払金が17億71百万円、買掛金が8億52百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して80億87百万円増加し968億76百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が38億67百万円、利益剰余金が30億31百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月1日に公表した通期の連結業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を加重平均期間法へ変更しております。

これに伴う当第3四半期連結累計期間の期首の利益剰余金及び当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,192	6,940
受取手形及び売掛金	8,755	4,960
有価証券	787	4,095
商品及び製品	183	141
仕掛品	17	590
原材料及び貯蔵品	96	102
繰延税金資産	826	481
その他	2,454	2,369
貸倒引当金	△40	△4
流動資産合計	25,274	19,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,857	13,235
その他（純額）	6,188	6,900
有形固定資産合計	16,045	20,136
無形固定資産		
のれん	1,090	774
その他	275	163
無形固定資産合計	1,366	937
投資その他の資産		
投資有価証券	56,905	64,661
更生債権等	2	1
繰延税金資産	211	152
その他	818	865
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	57,934	65,678
固定資産合計	75,347	86,753
資産合計	100,622	106,432

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,413	561
未払金	2,837	1,066
未払法人税等	1,956	1,269
賞与引当金	822	472
役員賞与引当金	191	142
返品調整引当金	45	23
売上値引引当金	660	347
ポイント引当金	16	12
繰延税金負債	0	1
その他	2,179	1,894
流動負債合計	10,122	5,791
固定負債		
退職給付に係る負債	193	139
繰延税金負債	1,037	2,907
その他	480	717
固定負債合計	1,710	3,764
負債合計	11,833	9,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	25,699	25,699
利益剰余金	48,036	51,068
自己株式	△2,200	△1,922
株主資本合計	86,535	89,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,322	7,189
土地再評価差額金	△3,100	△3,100
為替換算調整勘定	1,710	2,610
退職給付に係る調整累計額	267	259
その他の包括利益累計額合計	2,199	6,959
新株予約権	53	71
純資産合計	88,788	96,876
負債純資産合計	100,622	106,432

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	25,578	24,075
売上原価	15,479	13,924
売上総利益	10,098	10,151
販売費及び一般管理費	6,518	5,292
営業利益	3,580	4,858
営業外収益		
受取利息	1,292	1,409
受取配当金	851	1,004
投資有価証券売却益	1,781	2,545
その他	614	491
営業外収益合計	4,539	5,450
営業外費用		
投資有価証券評価損	159	922
有価証券償還損	461	184
その他	16	44
営業外費用合計	637	1,151
経常利益	7,482	9,157
特別利益		
固定資産売却益	—	147
特別利益合計	—	147
税金等調整前四半期純利益	7,482	9,305
法人税、住民税及び事業税	2,199	2,552
法人税等調整額	299	220
法人税等合計	2,498	2,773
少数株主損益調整前四半期純利益	4,983	6,532
四半期純利益	4,983	6,532

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,983	6,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,640	3,867
為替換算調整勘定	1,423	900
退職給付に係る調整額	—	△7
その他の包括利益合計	3,064	4,760
四半期包括利益	8,047	11,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,047	11,292

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライツ	S P	アミューズメント施設運営	計		
売上高								
外部顧客への売上高	16,846	4,400	1,242	1,515	1,335	25,340	238	25,578
セグメント間の内部売上高又は振替高	183	222	8	8	—	422	84	507
計	17,030	4,622	1,251	1,523	1,335	25,762	322	26,085
セグメント利益又は損失(△)	3,056	698	△23	671	53	4,455	69	4,525

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,455
「その他」の区分の利益	69
のれんの償却額	△945
四半期連結損益計算書の営業利益	3,580

(注) のれん及び資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他	合計
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライツ	S P	アミューズメント施設運営	計		
売上高								
外部顧客への売上高	14,506	4,632	1,825	1,456	1,205	23,625	450	24,075
セグメント間の内部売上高又は振替高	265	271	5	11	0	554	79	634
計	14,772	4,903	1,831	1,468	1,205	24,180	530	24,710
セグメント利益	3,567	892	163	484	8	5,116	58	5,175

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	5,116
「その他」の区分の利益	58
のれんの償却額	△316
四半期連結損益計算書の営業利益	4,858

(注) のれん及び資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。